

1 令和3年度基金事業予算（案）

（単位：千円）

区分	R2 当初予算 A	R3 当初予算(案) B	B - A
① 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備	577,316	739,967	162,651
①-2 病床機能再編支援	—	46,000	46,000
② 居宅等における医療の提供	395,696	434,890	39,194
④ 医療従事者の確保	1,408,607	1,443,122	34,515
⑥ 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備	—	323,000	323,000
計	2,381,619	2,986,979	605,360

※令和3年度当初予算(案)は、現在、県議会2月定例会に提出中

2 令和3年度基金事業提案（医療分）の反映状況

○関係団体から32件の提案があり、提案趣旨を踏まえ、22件の内容を事業に反映予定（新規・拡充・継続事業実施等に加え、予算措置を伴わない事業実施段階での反映予定等も含む）

区分	提案件数	反映件数	備考（反映内容）
①：地域医療構想の達成	7	3	
(1)医療提供体制の改革に向けた施設整備等	6	3	①新規：1 ⑤継続：2
(2)その他「病床の機能分化・連携」等	1	0	
②：在宅医療の推進	20	16	
(1)在宅医療を支える体制整備等	14	12	①新規：2 ②拡充：2 ③追加：2 ④事業形態変更：1 ⑤継続：3 ⑥実施段階反映：2
(2)在宅医療（歯科）の推進等	4	3	⑤継続：3
(3)在宅医療（薬剤）の推進等	1	1	②拡充：1
(4)その他「在宅医療・介護サービスの充実」等	1	0	
④：医療従事者の確保・養成	5	3	
(1)医師の地域偏在対策等	2	2	②拡充：1 ⑤継続：1
(2)診療科の偏在対策等	0	0	
(3)女性医療従事者支援等	0	0	
(4)看護職員等の確保等	0	0	
(5)医療従事者の勤務環境改善等	1	1	⑤継続：1
(6)その他「医療従事者等の確保・養成」等	2	0	
合計	32	22	

提案反映状況

①新規事業化	3	④事業形態の変更	1
②継続事業の拡充実施	4	⑤継続事業実施	10
③継続事業へのメニュー追加	2	⑥継続事業実施段階での内容反映を検討	2
反映件数 計			22

3 事業提案を反映した主な事業

○地域医療機能分化等推進事業費助成 【区分：①(1)】

提案	提案団体	地方独立行政法人静岡県立病院機構		
	提案内容	・地域医療構想を達成するため、病院間の病床再編、医師等の共同研修など医療連携推進業務等を行う、地域医療連携推進法人設立への支援		
事業反映	反映内容	【新規事業化】 ・地域医療構想の実現に向け、各構想区域の地域医療の課題を解決するため、 <u>地域医療連携推進法人の設立に向けた地域医療連携推進計画の策定経費</u> を助成する。 ・地域医療構想調整会議において合意を得た <u>地域医療連携推進計画に基づいて実施する施設・設備整備を行う地域医療連携推進法人</u> を支援する。		
	所管課	医療政策課（医療企画班）	予算額 （基金充当額）	45,000 千円

○地域包括ケア推進事業費

（訪問看護・訪問介護の感染症・災害対策連携推進事業） 【区分：②(1)】

提案	提案団体	静岡県訪問看護ステーション協議会		
	提案内容	・感染症や災害が発生した場合の、在宅療養者への医療・ケアの提供確保のため、地域内の複数の訪問看護STが連携し、相互にバックアップできる体制を構築		
事業反映	反映内容	【新規事業化】 ・感染症や災害が発生した場合に、1つの訪問看護ステーション・訪問介護事業所が運営を中止した場合でも、 <u>別の事業所が在宅患者に必要な医療・ケアを提供できる体制を構築</u> ・ <u>地域内の複数の訪問看護ステーション・訪問介護事業所で検討会を実施し、連携強化やバックアップ手順を策定</u>		
	所管課	健康増進課（地域包括ケア推進班）	予算額 （基金充当額）	1,400 千円

○看護の質向上促進研修事業費 【区分：②(1)】

提案	提案団体	静岡県看護協会		
	提案内容	・認定看護師の在籍が少ない中小病院・介護施設、訪問看護STへの支援のため、認定看護師を派遣		
事業反映	反映内容	【継続事業へのメニュー追加】 ・中小病院・介護福祉施設や訪問看護ステーションの中には認定看護師が在籍しておらず、コロナ渦において感染防止相談機能が弱いところがあることが判明 ・現在の中小病院等の看護職員を対象とした集合研修に加え、 <u>当該研修の受講者を対象とした認定看護師の施設派遣型研修（OJT）を新たに実施し、中小病院等の課題解決、安全・安心な看護・介護サービスの提供</u> を図る。		
	所管課	地域医療課（看護師確保班）	予算額 （基金充当額）	5,000 千円

○地域包括ケア推進事業費

(シズケア*かけはし地域包括ケア対応機能追加事業) 【区分：②(1)】

提案	提案団体	静岡県医師会		
	提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「シズケアサポートセンター」新設に伴い、ICTシステム（シズケア*かけはし）を「在宅医療・介護サービス対応型」から「地域包括ケア対応型」へモデルチェンジするための機能追加・拡充 		
事業反映	反映内容	<p>【新規事業化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護が必要になる前の段階から住民の情報を「シズケア*かけはし」に登録し、<u>フレイル予防や独居高齢者等の見守り、救急搬送時の情報共有等に活用</u> ・「シズケア*かけはし」を予防段階から活用し、<u>人生の最期までケアするシステム</u>としていく 		
	所管課	健康増進課(地域包括ケア推進班)	予算額 (基金充当額)	67,144 千円

○地域包括ケア推進事業費（かかりつけ薬剤師・薬局普及促進事業） 【区分：②(3)】

提案	提案団体	静岡県薬剤師会		
	提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム充実のため、地域連携薬局の推進による医療・介護に関する多職種との連携強化や、在宅医療を担う薬剤師を養成 		
事業反映	反映内容	<p>【継続事業の拡充実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、<u>薬局の在宅業務に関する多職種からの相談や薬局間の調整を担う薬局等の体制の強化</u>を地域ごとに実施 ・患者の薬物療法を支援する地域連携薬局の推進に向けて、<u>在宅業務等に対応できる薬剤師の養成及び医療機関との連携の取組</u>を実施するとともに、<u>多職種や県民への周知</u>等を実施 		
	所管課	薬事課（薬事企画班）	予算額 (基金充当額)	9,000 千円

○静岡県ドクターバンク運営事業費 【区分：④(1)】

提案	提案団体	静岡県医師会		
	提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医師確保に向けたサポートを目的とした運用を開始した「静岡県医師バンク」の運営、広報の拡充、勤務医キャリアに関する実態調査の実施 		
事業反映	反映内容	<p>【継続事業の拡充実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議システムを活用した<u>オンライン面談環境の整備</u> ・<u>医師バンク HP に動画掲載機能を追加</u>し、県内病院の紹介や各病院のキャリア支援等の情報を紹介 ・勤務医を対象とした<u>キャリア意識・実態調査</u>により求職時やキャリア形成において求める情報を把握し、情報発信、他施策等に活用 		
	所管課	地域医療課(医師確保班)	予算額 (基金充当額)	11,576 千円

静岡県の新型コロナウイルス感染症対策の現状（令和3年3月5日）

（1）感染症の状況（政令市を含む全県の状況）

区 分	状 況																								
1 患者発生状況	<p>県内での陽性者確認数 5,199 人（再陽性患者 1 名含む） 月別新規患者数の発生状況（R3/3/4 まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>～10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>656</td> <td>964</td> <td>1,059</td> <td>1,906</td> <td>556</td> <td>58</td> <td>5,199</td> </tr> </tbody> </table> <p>※空港検疫所で発見された陽性者確認者 3 名は対象外</p>	～10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	656	964	1,059	1,906	556	58	5,199										
～10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																			
656	964	1,059	1,906	556	58	5,199																			
2 入院者数	<p>県内感染症指定医療機関等の入院状況（R3/3/4 現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現在入院数</th> <th>感染症指定医療機関</th> <th>一般病院</th> <th>計</th> <th>宿泊施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象機関数</td> <td>6 施設</td> <td>12 施設</td> <td>18 施設</td> <td>3 施設</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>43 人</td> <td>31 人</td> <td>74 人</td> <td>33 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>自宅療養者数 66 人 自宅待機者数(入院等調整中) 14 人 死亡者数 94 人（R3/3/4 まで累計）</p>	現在入院数	感染症指定医療機関	一般病院	計	宿泊施設	対象機関数	6 施設	12 施設	18 施設	3 施設	患者数	43 人	31 人	74 人	33 人									
現在入院数	感染症指定医療機関	一般病院	計	宿泊施設																					
対象機関数	6 施設	12 施設	18 施設	3 施設																					
患者数	43 人	31 人	74 人	33 人																					
3 クラスターの発生状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>～10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>170</td> <td>375</td> <td>371</td> <td>385</td> <td>138</td> <td>0</td> <td>1,439</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R3/3/4 まで)</p>	月	～10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	件数	13	23	15	22	10	0	83	患者数	170	375	371	385	138	0	1,439
月	～10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																		
件数	13	23	15	22	10	0	83																		
患者数	170	375	371	385	138	0	1,439																		
4 PCR検査件数	<p>204,892 件（R2/1/22 ～R3/3/3 まで） 行政検査分：37,820 件 （県 19,871 件 静岡市 6,995 件 浜松市 10,954 件） 民間委託分：167,072 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>検査件数</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3～11月</td> <td>65,515</td> <td>238 件/日</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>36,448</td> <td>1,176 件/日</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>53,487</td> <td>1,725 件/日</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>43,938</td> <td>1,569 件/日</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>5,504</td> <td>1,835 件/日</td> </tr> </tbody> </table>	月	検査件数	平均	3～11月	65,515	238 件/日	12月	36,448	1,176 件/日	1月	53,487	1,725 件/日	2月	43,938	1,569 件/日	3月	5,504	1,835 件/日						
月	検査件数	平均																							
3～11月	65,515	238 件/日																							
12月	36,448	1,176 件/日																							
1月	53,487	1,725 件/日																							
2月	43,938	1,569 件/日																							
3月	5,504	1,835 件/日																							
5 発熱等受診相談センター相談受付件数	140,021 件（R2/2/10 ～R3/3/4 まで） 県 74,787 件 静岡市 20,710 件 浜松市 44,524 件																								
6 帰国者・接触者外来受診件数	7,157 件（R2/2/10 ～R3/3/4 まで） 県 4,703 件 静岡市 405 件 浜松市 2,049 件																								
7 帰国者・接触者外来設置状況	34 医療機関に設置（R3/3/4 現在）PCR 検査センターを除く																								
8 地域外来・検査センター設置状況	18 地域外来検査センター設置（R3/3/4 現在）																								
9 発熱等診療医療機関	873 医療機関を指定（R3/3/4 現在） うち照会可かつ検査実施 298 医療機関																								
10 入院受入可能病床	414 床を確保。今後の調整により、最大 450 床を確保																								

(2) 健康福祉部の主な対応

対応区分	対応策	対応内容
1 感染予防の徹底	(1) 感染予防策の周知・啓発	手洗い、咳エチケットなどの感染予防策の周知・啓発
	(2) 予防対策実施の呼掛け	帰省者の健康観察票活用を推奨 ○県のホームページを開設
	(3) 重症化しやすい方への注意喚起	○知事の定例記者会見で県民へ広く呼びかけ
	(4) 施設等に対する指導	感染経路遮断の指導 衛生用品の備蓄調査の実施等
	(5) 県・政令市連絡調整会議の設置	県・政令市の連携を強化し感染症の拡大防止対策を図る
	(6) マスク等の確保・配布	市町備蓄分の提供の依頼と市町間調整の実施 施設等の必要量調査の実施 国調達分の配布(医療施設)
2 検査体制の強化	(1) 疑い例の基準の周知徹底	医療機関に対して、PCR検査を行う疑い例の基準の周知徹底
	(2) PCR等の検査の公的保険適用への対応	自己負担分を公費で補助
	(3) PCR等の検査体制の強化	1日あたり約 5,100 検体検査可能
	(4) 地域外来・検査センターの設置	検体を採取することに特化した検査センターを設置することで検査件数を大幅に増加。県内 18 箇所に設置
	(5) 抗原検査の公的保険適用への対応	5/13 より抗原検査が保険適用され、自己負担分を公費で補助
	(6) 検体の対象の拡充	6/2 検体に唾液、10/2 鼻腔拭い液が追加。検体採取時の時間や手間が改善される(保険適用可)
	(7) 検査機関等への検査機器整備支援	地方衛生研究所、医療機関及び民間検査会社等へ検査機器の導入を支援することで、検査体制の整備を行う
	(8) 県の検査機器整備状況	抗原定量検査機器 3 台を導入 処理能力 120 検体/時間 東部保健所、中部保健所、環境衛生科学研究所に設置

対応区分	対応策	対応内容
3 医療体制の確保	(1)相談体制の構築	5/1 よりコールセンターを設立。24時間対応。相談に対して速やかな対応が可能となった
	(2)診療体制の構築	各医療圏に設置した「帰国者・接触者外来」で診療
	(3)連絡調整会議の開催	情報共有、意見交換の実施 (2/5、3/2、7/16)
	(4)感染症医療専門家会議の設置	本部員会議への助言組織として設置 (3/25、4/8、12/2)
	(5)感染症対策専門家会議の設置	医療体制の確保に関する助言組織として設置 (R2、10回実施)
	(6) ふじのくに感染症専門医協働チーム	患者の入院先の振り分けや患者搬送に関する助言組織を設置 (5/13 より原則毎週火曜夕方)
	(7)新型コロナウイルス感染症対策チームの設置 (7班で構成)	各医療機関と連携した万全の医療体制を構築する。 ・軽症者対策班(ホテル運営) ・PCR検査班(PCR関連全般) ・病床確保・広域調整班 ・広報・連絡調整班 ・物資支援班(医療物資の調達、配給) ・相談センター班 ・ワクチン班
	(8)クラスター対策機動班の設置	9月30日、検査支援スタッフ13人と調査支援スタッフ26人から構成。クラスター発生時に迅速な対応を行う
	(9)入院が必要な患者への対応	感染症指定医療機関で入院治療可能(県内10病院46床) 一般医療機関も含め感染フェーズに合わせて、150床-200床-300床-450床を段階的に確保
	(10)軽症患者受入施設の拡充	5月静岡市内に155室のホテルを確保。7月より療養者受入開始 8月浜松市に68室確保 9月裾野市に156室確保 12月浜松市に213室確保
	(11)医療機関への設備整備支援	人工呼吸器や陰圧装置等、必要な医療機器や資器材について整備するための支援を実施
	(12)検査機関等への検査機器整備支援	地方衛生研究所、医療機関及び民間検査会社等へ検査機器の導入を支援することで、検査体制の整備を実施

対応区分	対応策	対応内容
4 適時・適切な情報の提供	(1) 迅速で正確な情報提供	ホームページ等を活用した患者発生状況、検体検査件数、相談件数等の情報提供、知事定例記者会見で県民へ周知
	(2) 「発熱等受診相談センター」の周知	県ホームページで発熱等受診相談センターを周知 PR用ポスターを作成し配布
	(3) 一般的な質問や相談を受付する専用ダイヤルの設置	一般的な相談について疾病対策課及び保健所に相談ダイヤルを設置
5 今後、感染が拡大した場合の対応	(1) 検体採取体制の強化	帰国者・接触者外来の増加、各圏域への地域外来・検査センターの設立等により、検体を採取できる箇所を増やす
	(2) PCR 検査体制の強化	現在通常運用で約 5,100 検体/日の検査が可能。 今後、医療機関や民間検査会社の検査機器購入を助成し 14,500 件/日の検査ができるよう体制を整備 クラスター発生に伴い、同種施設を対象としたPCR検査を実施
	(3) 入院患者受入病床の増加	感染症指定医療機関や一般病床あわせて 414 床を確保しているが、今後の患者の増加によっては国の推計に基づき最大 450 床を確保
	(4) 軽症者用の宿泊施設の更なる確保	現在、県中部に 155 室、西部に 213 室、68 室、東部に 156 室、合計で 592 室の軽症者用宿泊施設を確保。目標の 450 室を達成
	(5) 重点医療機関 協力医療機関の指定	県内 19 の医療機関に、患者を専用病棟で治療する重点医療機関として指定 疑似症患者を受入れする協力医療機関として 21 医療機関を指定
	(6) 救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策を支援	救急・周産期・小児で疑い患者を受け入れる 53 医療機関を指定
	(7) 医療機関・薬局等にて感染拡大防止等を支援	地域で求められる医療を提供するため、院内感染防止対策を支援
	(8) インフルエンザ流行に備えた体制整備	多くの医療機関で発熱患者から相談・診療・検査できる体制を整備
	(9) ワクチン接種に備えた体制整備	県にワクチン班を設置し、各市町が実施するワクチン接種が円滑に実施できるよう関係団体と調整